

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：サンライズキッズ保育園 平塚園		種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く）	
代表者氏名：小野 知恵		定員（利用人数）：19 名	
所在地：〒254-0014 平塚市四之宮2-3-58エトワール平塚1階			
TEL：050-5807-2296		ホームページ： https://www.sunrisekids-hoikuen.com/hiratsuka/	
【施設・事業所の概要】			
開設年月日：2019年04月01日			
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 エクシオジャパン			
職員数	常勤職員：6 名	非常勤職員：8 名	
専門職員	（専門職の名称）： 名		
	保育士	13 名	
	栄養士	1 名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）	
	0歳児保育室	事務・医務室	
	1歳児保育室	調理室	
	2歳児保育室	調乳室	
		沐浴室	
		屋外遊技場（園庭）	

③理念・基本方針

<理念>

もっと輝け、明日のぼく・わたし！

周りに光とパワーを与える、ぽかぽか暖かい太陽のような子になろう。

<基本方針>

1. ひとりひとりの個性を大切に保育する。

●どんなに小さな子どもでも立派な一人のかけがえのない存在です。小さな子どもにとって、1日はとても長く、1分1秒の間に様々なことを感じ取ります。

2. たっぷりの愛情で保育します。

●言葉にして訴えることが難しい時期だからこそ、一人ひとりの欲求を受け止め、小さな変化も見逃さず「ありのまま」を受け入れ、その時々に応じた対応、援助をします。

<保育目標>

●自分に自信を持とう

●想像力を育もう

●お互いを理解しよう

- 心身ともにたくましくなろう
- 自然を愛する心を持とう
- 目標に向かってがんばろう
- 礼儀正しい子になろう

④施設・事業所の特徴的な取組

＜サンライズキッズ保育園 平塚園の特徴的な取り組み＞

1. 充実したカリキュラム導入

- 育脳プログラム（リトミック・英語・体操）、フラッシュカード・ドッツカードの利用
 - 読み聞かせプログラム（一日10冊以上の絵本）
 - 道徳カリキュラム（絵本の利用等）
 - 食育/植栽への取り組み（自園調理へのこだわり等）
- ##### 2. 保育園ICTシステム導入による効率的かつ保護者との連携がとりやすい保育体制
- ##### 3. 毎月実施の社内研修制度による保育士のレベルアップ

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年04月20日（契約日） ～ 2021年09月02日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（ 年度）

⑥総評

【サンライズキッズ保育園 平塚園の概要】

●「サンライズキッズ保育園平塚園（以下、本園という）」は、株式会社エクシオジャパン（以下、法人という）が運営する小規模保育園です。法人は、平成24年から保育事業に参入し、「子どもたちの無限の可能性を引き出し未来へ羽ばたく人材の育成」という目標を掲げ、地域の待機児童問題の解消のため、現在、神奈川県内の4園を含め全国で29園の小規模保育園の運営を行っています。法人は、かけがえのない大切なお子様を「常に安心して預けられる園」であることはもちろん、のびのびと自己表現が可能な環境で、感性豊かな心の形成を目指しています。「もっと輝け、明日のぼく、わたし！周りに光とパワーを与える、ほかほか暖かい太陽のような子になろう。」を保育理念として掲げ、心身ともに健康な園児を育み、また、職員も明るく保育ができる保育施設を運営しています。

●本園は、JR東海道本線「平塚駅」よりバスに乗り「古河電工入口」バス停から徒歩3分の場所にあります。本園は、国道129号線から西側に入ったマンションの一階部分に位置し、周りの環境は商業施設と住宅が混在した地域であり、畑や自然も多く残っています。園舎内は、安心・安全の設備の下、ゆったりとした空間と愛着関係を密に築くことができる少人数制の特性を生かした作りになっています。系列園全体で、0歳～2歳の時期を、脳の成長の一番大切な時期であると認識し、育脳プログラムを採用し、体操・リトミック・英語カリキュラムを取り入れ、充実した保育の提供を行っています。本園は、法人運営の英語教育保育園「サンライズキッズインターナショナルスクール湘南平塚校」が隣接しており、共同使用の園庭があります。さらに、天気の良い日は散歩に出かけ、屋外で体を動かす機会を設け、月齢・年齢に合った様々な遊びを提供し、子どもたちが伸び伸びと過ごせるよう支援しています。

◇特に評価の高い点

- ##### 1. 【保育の質の向上のための本部との連携】

●保育の質の向上のため、様々な面で本部との連携が有効に機能しています。園から法人本部への報告事項で、毎週水曜日「設備・散歩コース等を点検簿での安全確認」・毎週木曜日「SIDS対応で午睡中の園児の様子を写真で送付」・毎週金曜日「ヒヤリハットや事故の事例報告」等を行い、法人本部のサポートで問題解決に取り組んでいます。子どもたちが快適に過ごすための園内美化にも注力しており、毎週金曜日に「園内数力所の写真送付」を行い、法人本部に美化報告を行っています。また、全園共通の保育園ICTシステム導入により、指導計画や

各園からの情報提供及び報告・連絡・相談等が迅速に行われ、業務効率化に役立っている他、連絡帳や保育に関する記録が全てクラウド上で管理され、園長・職員・法人本部スタッフが確認できることで、保護者との連携が取りやすい保育体制が構築されています。問題が生じた場合は本部でチェックや指導が行われ、サポートが常にあり、問題解決にもスムーズに取り組め、双方の連携により保護者への対応も迅速に行われています。

2. 【小規模の良さを生かした保育】

●小規模の良さを生かし、子ども一人ひとりの生活リズムを大切にしつつ、保護者との密な連携を重要視した保育を行っています。0歳児は3名定員であり、ゆったりとした空間の中、愛着関係を密に築くことができる少人数の特性を生かし、「一人ひとりの大切なお子様」という意識の下、たくさんの愛情を注ぐことができる保育を提供しています。家庭との連携を密にし、排泄（便）の様子が普段と少し違う際は、保護者に確認してもらうためオムツを持ち帰ってもらうこともあり、子ども一人ひとりの健康に関して家庭と共有を図りながら進めています。1歳・2歳児の保育においては、子どもが自分の力で取り組もうとする気持ちを尊重し、子どもが自由に玩具を選ぶことができる配置を心がけ、生活習慣での片付けも重視して支援しています。そして、生活の中で子どもができることは、職員はなるべく手を出さず、自発的な活動を促すよう心がけています。職員間で協力体制を整え、一人ひとりに時間をかけて関わり、目配り・気配り・心配りの目が行き届き、温かい保育を行っています。

◇改善を求められる点

1. 【地域に開かれた子育て支援への取り組み】

●地域資源の一つとして、園としてできる事・やるべき事に取り組んでいます。専門的な地域への支援活動として、「パパママ相談室」の開設やホームページ上で保育に関する相談窓口の設置及び、仕事と子育ての両立を行う家庭に対して継続的な支援援助活動等に取り組んでいます。しかし、現状ではコロナ禍で不十分な取り組みとなっています。地域の福祉ニーズを把握し、行政等との情報交換を継続して行い、子育て支援者の横のつながりを大切にして地域の必要な社会資源として、子育て世帯への支援を行っていかれることを期待いたします。開設3年目の新しい園ですが、地域との交流の機会を定期的に設け、地域コミュニティの活性化に取り組んで行かれることを期待しています。

2. 【職員の定着と育成への取り組み】

●毎月の社内研修・調理スタッフ研修（2ヵ月に1回）・園長研修（2ヵ月に1回）等、職員一人ひとりの教育・研修の機会は確保されています。また、年4回の自己評価・毎月実施の職員面談・職員による360度査定等、職員の意向・意見の把握ができています。職員それぞれに合わせた条件で働く変形労働時間制が設けられ、サンライズの約束「持ち帰り仕事はしない」を基本的考え方として運営する等、職員のワーク・ライフ・バランスを考えて取り組んでいます。職員間で臨機応変に協力し合い、働きやすい職場作りに努めていますが、経験値の浅い職員も在籍しており、引き続き、職員個々の仕事上の悩みや不安を早い段階で解決していく取り組みが望まれます。また、経験値の浅い職員

を対象に、課題や目標を決めて保育に取り組み、本部と共有し、スキルアップを図っていかれることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： 株式会社エクシオジャパン サンライズキッズ保育園 平塚園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

今回、自己評価等の取り組みをさせていただき、改めて本部、園、保護者との連携の大切さを感じました。園に在籍する園児さんや保護者だけでなく、地域の皆様への子育て支援の充実。これから保育士を目指す学生さんへの支援、資格取得を目指す方々への支援等、まだまだ改善する所があり、これからの保育園としての目指す方向性がはっきりとわかりました。

園児さんや保護者の幸せのため、地域の皆様のため、資格取得を目指す全ての方のために、愛し、愛される保育園になるために日々精進いたします。

《株式会社エクシオジャパン 保育事業部の感想》

先日は数日間に渡り、第三者評価の実施をありがとうございました。今年度から勤務する施設長が多い中、改めて本部と施設長の方向性、認識を見直し、統一する良い機会になったと感じております。

結果を拝見させていただきました。その中でもやはり本部と現場の連携の重要性を感じました。現場の温度感を本部でも忘れることなく、より密な「報・連・相」を心がけて園づくりをしてまいります。

<評価後取り組んだ事として>

1. 7月「保育体験会」を実施いたしました。
2. 8月「絵本 読み聞かせセミナー」を実施いたします。（緊急事態宣言中のためオンライン）
3. 8月末より資格取得を目指す方へのキャリアアップ講習の充実

《株式会社エクシオジャパン 保育事業部での取り組み》

1. 園長の認識ズレがあった箇所のすり合わせ
2. 本部内での総評の共有
3. キャリアアップ研修を積極的に受けられるような案内周知

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり